



ボランティア情報いがた きらりん

特別号

2019.1.23



特集

「ふれジョブ」ってなんですか？

○ふれジョブの活動について教えてください。

支援が必要な子どもたちの「お仕事体験プログラム」を通して、地域に住む人たちがお互いのつながりを育み、あたたかな地域づくりへとつなげる活動です。

「障がいのある子も、そうでない子も、一緒に生きていくことができる地域社会を共に創る」という目的です。

具体的には、小学校5年生から高校3年生までの支援が必要な子どもたちが、1週間に1回、1時間のお仕事体験を行います。ジョブサポーターと呼ぶボランティアさん、地域の企業のみなさんが協力しています。

1つの職場の体験は半年間と決まっています、次の企業へ変わると、サポーターさんも変わります。

半年間ずつ、企業とサポーターが変わることで、どんどん地域の輪に知り合いや支援者が増えていきます。

月に1回、定例会を開くのですが、これが大事。

子どもたちはお仕事体験の内容や感想を話し、他のお友達の発表を聞きます。サポーターや企業の方は、子どもとの会話や体験中の様子を話します。保護者や学校の先生は、家庭や学校生活の様子をそれぞれ。

暗黙のルールとして、お仕事体験をする子の保護者は、そこには入らない。子どもたちは、家とは全く違う顔を見せます。保護者の方は驚くとともに、うれしいですよ。私の子も、家では絶対にやらないことを、いやいやではなく心地よくやっている。こんな一面があるんだ、と驚きましたね。



ふれジョブ新潟連絡協議会 事務局長 荒木 隆さん

○どんな企業が受け入れ協力をして、どんなお仕事体験をするのですか？

それぞれのふれジョブ毎に地元で開拓します。様々な企業が協力してくださっていますが、一例をあげますと、セブンイレブンさん、イオンさん、スポーツDEPOさん、新潟県立大学さん、西蒲区のパン屋ナミテテさんなど。累積すると県内で400近い事業所が協力しています。お仕事体験はその職場やお店によって違いますから、ほんとに様々ですよ。商品並べや袋詰め、お掃除やシュレッダーかけ、本のラベル貼りなどなど。

受入企業の方も、障がいのある子と関わったことがないと不安だろうと思います。ですから、最初の頃は、サポーターさんと話すんですよ。それが、活動を続けるうちに直接子どもたちと話すようになる。話ができる関係性ができるんです。学校等で知識として学ぶ「障がい」ではなく、実際に関わることによって障がいのイメージも変わると思うんです。

○受け入れる企業にとっても大きな出会いになっているんですね。サポーターさんは、どんな方たちが？

子どもたちの保護者ももちろんですが、民生委員さん、学生さん、地域のボランティアさんなどいろいろです。

以前、北区でふれジョブ説明会を開催するので、地域の方に声をかけましたら、「忙しくて時間がないから30分だけよ」と言っていた方がいたのですが、説明会に来たら最後まで聞いてくださり、その後どっぴりと活動にはまってくださいました(笑)。新発田市のふれジョブを広げるシンポジウムでは、登壇まで！

こんな話もあります。以前、中央区のふれジョブ鏡淵でサポーターをしていた学生さんが、就職で静岡に行っただんですよ。「ふれジョブに関わっていたときの感動が忘れられない。お礼としていただいた色紙は宝もの。今度は、住み始めた静岡でもぜひつくりたい！」と活動が広がっていきました。

○子どもたちはどう変わります？

家庭や学校では得られない、良い刺激を受け内面的に大きく成長します。たくさん大人たちとの出会いがあり、ほめられたり、誰かの役に立ったり、必要とされるという喜びを感じますよね。親がちょっと離れるのもいいのだと思います。

○新潟では、どうしてふれジョブがはじまったんですか？

ふれジョブは、倉敷の西幸代先生という方がしくみをつくったんですよ。新潟の特別支援学校の先生方の研修に来ていただき、そのお話を聞いた先生方が2008年に立ち上げました。今年はちょうど10周年になりますね。

どんどん広がって、今では新潟県内に25のふれジョブがあります。参加する子どもが減って活動を休止しているところもありますが。

○荒木さんは、ふれジョブ新潟連絡協議会の事務局長さんですが、この「協議会」はどうしてできたのですか？

ふれジョブは「お仕事体験」ですが、障がいのある子の就労支援や職業訓練が目的ではないわけです。そこがけっこう間違われる。もちろん、就労だって大切なことですよ。働くことで生きがいを感じる子どもたちもいますし。ですが、それが目的ではない。しくみが始まった倉敷でも、最初は就労目的と見られてしまったそうです。「みんなが一緒に生きることができる地域づくりを目指す」ための活動です。新潟県内でふれジョブが広がっていく中で、その大切な理念や方向性がぶれないように、協議会ができたんです。

ふれジョブがきっかけで、さまざまなつながりが広がっています。劇団や障がい者アートとか、新しいNPOができたり。ひとりではできないことでも、いろんな人がつながってネットワークができ、そこで課題を共有し、いろんなことができる。私も、ふれジョブに関わって、生活ががらっと変わりましたね。パチンコもタバコもやめましたよ(笑)。

ふれジョブ =

『ぼくの仕事は、地域みんなをつなぐこと』

「支援の必要な子どもたちに、いろんなことをさせて社会で生きていけるようにする」という見方ではなく、周り(社会)の方を変えていくことの方が、できることがいっぱいあるのではないのでしょうか。みんなが、どうしてもがんばらなきゃいけないのがあたりまえの社会？それは違うんじゃないかなと思っています。

サポーターも企業の方も、最初は、障がいのある子を「助けてあげたい」とはじめるのでしょうか。経験すると、それが逆になってくる。関わることによって、子どもたちからいろんなことを学びます。笑顔、元気な挨拶、見えない大切なもの。「存在そのもの」の価値、いのちの価値。ふれジョブは、子どもたちを中心にして立場の違う仲間たちが集まり、つながり、子どもたちから学んだり、受け取ったりする活動だと思います。

～ ぶれジョブからは、こんな声が ～

◆近所で買い物をしていたら知らない方に声をかけられ、息子はうれしそうにしていました。受入先の方でした。息子の方が、私より顔が広くなってきています。(保護者)

◆はじめは緊張していて、私の陰に隠れたり、会話も進みませんでした。今では元気に挨拶し、学校でのことも自分から話してくれます。その笑顔は宝物のよう。関わって本当に良かった。(サポーター)

◆〇〇くんが来てくれる1時間は、時間の流れが変わるような不思議な時間。もうけとか、出来映えとか、そんなことを超越して大切なことを思い出させてくれる、私たちにとってもあたたかな時間です。(受入企業)

ぶれジョブの創始者 西 幸代さんの詩より(抜粋)

ぶれジョブってなあに？
町の風景が変わっていくこと。
人の顔が優しくなること。
生まれてきた意味を考えること。
出会えたことに感謝したくなること。
また明日、元気にがんばろうと思うこと。

ぶれジョブってなあに？
ガラス細工みたいに壊れやすそうに思えるもの。
止まるとよどんで腐るもの。
失くしたくなくてがんばりたくなるもの。
集まる人が入れ替わっても川の流れみたいにくっつかれていくもの。



編集後記

ぶれジョブの活動を知っている方の中にも「ぶれジョブの目的＝就労支援・職業訓練」と思っていた方もおられるのではないのでしょうか。

「みんなが一緒に生きることができる地域づくりを目指す」という目的、そして「助けてあげたい」からはじまっても、いつのまにか逆に「多くのことを学ばせていただき、気づかなかった価値観を受け取る」というあたり、ボランティア情報紙として掲載したい内容だなあと、「きらりん特別号」として紹介させていただきました。

ボランティア・市民活動センター 【一覧】

区	所在地	連絡先
北	〒950-3323 北区東栄町 1-1-35 豊栄さわやか老人福祉センター内	電話:025-386-2810 FAX:025-388-2914 v-kitaku@syakyo-niigatacity.or.jp
東	〒950-0885 東区下木戸 1-4-1 東区役所1階	電話:025-272-7731 FAX:025-272-1756 volunteer-center.e@syakyo-niigatacity.or.jp
中央 古町	〒951-8062 中央区西堀前通 6 番町 909 Co-C.G.(コシジ)3 階	電話:025-210-8730 FAX:025-210-8722 va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp
中央 万代	〒950-0909 中央区八千代 1-3-1 新潟市総合福祉会館 1 階	電話:025-243-4379 FAX:025-248-7180 vas-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp
江南	〒950-0155 江南区泉町 3-3-3 江南区福祉センター内	電話:025-250-7743 FAX:025-250-7761 v-kounanku@syakyo-niigatacity.or.jp
秋葉	〒956-0864 秋葉区新津本町 1-2-39 新津地域交流センター2 階	電話:0250-24-8345 FAX:0250-23-3322 vsc-akiha@syakyo-niigatacity.or.jp
南	〒950-1214 新潟市南区上下諏訪木 817-1	電話:025-373-3223 FAX:025-373-6125 vorasen@shakyominami.ecnet.jp
西	〒950-2054 新潟市西区寺尾東 3-14-41 西区役所健康センター棟 1 階	電話:025-211-1630 FAX:025-211-1631 volunteer-center.w@syakyo-niigatacity.or.jp
西蒲	〒953-0041 西蒲区巻甲 4363 巻ふれあい福祉センター内	電話:0256-73-3565 FAX:0256-73-4914 volunteer-center.nsk@syakyo-niigatacity.or.jp
地域福祉課 地域活動支援係 (ボランティア・市民活動 支援センター)	〒950-0909 中央区八千代 1-3-1 新潟市総合福祉会館 3 階	電話:025-243-4370 FAX:025-243-4376 nvac@syakyo-niigatacity.or.jp